

進化する学術情報サービスと高まる図書館の役割

学術情報の媒体が電子媒体となって久しいが、そのことによって学術資料が利用者の目に触れる機会が増えてきており、利用者にとって利用しやすいものになってきました。また学術情報の流通量も格段に増えてきており、電子媒体での利用が流通を加速させています。一方、的確に必要な情報を探し出せる工夫は大学図書館や企業の図書部門で益々重要になってきています。

今年の学術情報ソリューションセミナーでは、このように進化する学術情報サービスと図書館の役割について考えていきます。

PROGRAM

日時

2012年 6月 22日 (金)
9:30 ~ 17:00 (開場 9:00)

場所

ブリーゼタワー小ホール
大阪市北区梅田 2-4-9
ブリーゼタワー 7F

参加費

無料

定員

100名

9:00 ~

開場

9:30 ~ 9:35

主催者挨拶

9:35 ~ 10:00

【事例報告】図書館留学：教職協働の学習支援への取り組み
～語学力の向上に向けて～

◎ 神戸学院大学図書館 小畑 佳弘 様

10:00 ~ 10:40

【出版社トピック】学術情報のトレンドと最新情報
◎ 英国物理学会出版局日本事務所 ◎ NPG ネイチャーアジア・パシフィック
◎ 株式会社カルガー・ジャパン ◎ OUP オックスフォード大学出版局株式会社

10:40 ~ 10:50

休憩

10:50 ~ 11:20

【出版社トピック】学術情報のトレンドと最新情報
◎ ProQuest 日本支社 / RefWorks-COS/SerialsSolutions
◎ ワイリー・ジャパン
◎ シュプリンガー・ジャパン株式会社

11:20 ~ 12:00

【講演1】最新の Web 検索技術の発展とそのインパクト

◎ IT ジャーナリスト / コラムニスト 海上 忍 様

12:00 ~ 13:20

ランチ & 休憩

13:20 ~ 14:15

【メインセッション】ウェブスケールディスカバリーサービス「Summon」
—最新情報とユーザー会報告

「Summon アップデート」 ◎ SerialsSolutions / 株式会社サンメディア

「Summon ユーザー会報告」 ◎ 佛教大学図書館 専門員 飯野 勝則 様

◎ 東邦大学医学メディアセンター 児玉 関 様

14:15 ~ 14:25

休憩

14:25 ~ 15:05

【講演2】JUSTICEの1年—課題と展望

◎ 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 事務局 様

15:05 ~ 15:35

【講演3】広がる「学認」の輪

◎ 国立情報学研究所 学術情報ネットワーク運営・連携本部 認証作業部会 学認タスクフォース
京都大学附属図書館情報管理課 専門職員 井上 敏宏 様

15:35 ~ 16:05

【講演4】電子学術情報リソースと新たな情報基盤構築に向けて

◎ 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 コンテンツシステム開発室 田邊 稔 様

16:05 ~ 16:30

ドリンク & コミュニケーション

16:30 ~ 17:00

e-Port アップデート

Ulrichweb.com 「図書館に必須の定期刊行物情報データベースの決定版！」

RefWorks 「100% 活用するために」

PierOnline 「タイトルが追加されました！」

医中誌 Web 「待望の新機能『My 医中誌』リリース！」 ◎ 株式会社サンメディア e-Port

※プログラムは変更となる場合がございます。ご了承ください。

会場でスタンプラリーを実施します



出展出版社様のブースをまわってスタンプを集めると抽選で景品が当たります！参加賞もご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

申し込み方法

➤ WEB フォームから 下記 URL のフォームよりご送信ください。

<http://www.sunmedia.co.jp/form>

➤ FAX から 同封の申込用紙に記入または下記から申込用紙をダウンロード・印刷後、必要事項を記入の上ご送信ください。

http://www.sunmedia.co.jp/information/2012solution_osaka.pdf

学術情報ソリューションセミナーは下記の出版社の皆様にご協力をいただいております。

IOPP 英国物理学会出版局日本事務所、英国化学会、オックスフォード大学出版局株式会社、株式会社カルガー・ジャパン、シュプリンガー・ジャパン株式会社、Thieme(ティーメ)、NPG ネイチャーアジア・パシフィック、ProQuest 日本支社、RefWorks-COS、SerialsSolutions、ワイリー・ジャパン [あいうえお順]

